

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1 - 1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043 (223) 3005
発行日 毎月 1 日
平成 29 年 7 月号

ユリの若手生産者グループ「ユリ研究会いんば」の活躍 ～安定したユリの周年栽培への取組～

印旛農業事務所 改良普及課
上席普及指導員 椿 正明

平成 28 年 11 月 30 日に佐倉市花卉園芸組合と J A 富里市花き部会に所属する印旛地域の若手ユリ生産者 9 名が、「ユリ研究会いんば (略称: ユリ研いんば)」を結成しました。ユリの高品質安定生産と販売促進を目的に活動を展開しています。

1. ユリ周年栽培の安定化へ向けて

印旛地域は古くからユリの栽培が行われ、年間を通して出荷している全国でも珍しいユリの周年栽培の産地です。

現在は、佐倉市花卉園芸組合と J A 富里市花卉部に所属する、2 代目 3 代目の後継者が、オリエンタル系の「カサブランカ」をはじめ、数多くユリの品種を生産しています。

しかし、高品質なユリを周年で安定的に生産するには課題も多いことから、若手生産者が集まり、栽培技術と販売促進についての研究会活動を開始しました。

2. 適切な土壌管理と製品率の向上

ユリの安定生産の基本になるのは土壌管理です。個々のほ場に合った適切な土壌管理ができるよう、定期的に土壌診断を行っています。

これを基に栽培検討会を開催し、各自の土壌成分の過不足や土壌酸度と畑の生育状況を共有することで、適切な土壌の改良や施肥設計に取り組んでいます。

この結果、各自がほ場の特徴を把握し、ユリの栽培に適した土壌管理により、品質や製品率等が向上しました。

また、定例会では、新しい資材や技術試験を行った結果を、持ち寄り、情報収集や共有を進めています。



土壌管理技術検討会

3. ユリを長く楽しむ鮮度保持剤の活用検討

鮮度保持剤 (生産者が実施する前処理剤と出荷後に実需者が処理する後処理剤) のユリの花持ちに関する効果について検証し、仲卸業者や小売店などに提案しました。

前処理剤については、採花後に処理する現地試験を行い、花持ちや花色が良くなるなど一定の成果が得られました。

後処理剤については、出荷先の花き市場において、後処理区と無処理区の比較展示を行い、鮮度保持剤使用の有効性について、花き業界関係者の意識を高めました。

今後は、鮮度保持剤を使った商品の花持ちを PRするとともにコールドチェーンなどの流通対策にも取り組みたいと考えています。

4. 花き市場及びほ場巡回による販売促進活動

定期的に市場に行き、他産地との品質の比較や、自分たちが出荷した商品の品質をチェックするなど、市場担当者と販売状況や、生産者ごとの実績について確認しました。

また、市場担当者、仲卸業者、小売店を生産者の各ほ場に招いて、生育状況を説明し、出荷に向けた販売 PRを行いました。市場担当者からは「出荷前の状況を確認することができて良かった」などの評価を頂きました。

「ユリ研究会いんば」は、高品質生産と鮮度保持技術の向上に取り組み、ユリの花をより長く楽しめる方法を提案しながら販売促進と産地振興に取り組めます。



花き市場においてユリの販売促進活動